



認知症を正しく理解する

9月は、「認知症の日(9月21日)」を含む認知症普及啓発の強化月間とされています。今号では、市の現状や認知症本人ミーティング(表紙写真)などの取り組み、地域包括支援センターなどの紹介をします。

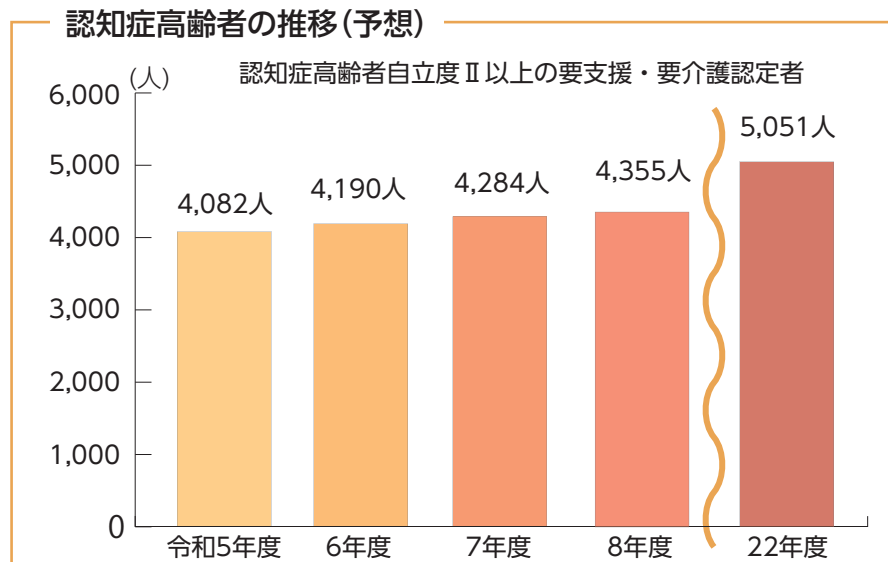
認知症は誰にでも起こり得るものであり、認知症の方が住みやすい地域をつくるためには、理解を深めることが必要です。認知症を「自分事」として捉え、正しい知識を身につけましょう。

☎ 高齢福祉課 ☎ 内線1308

● 取手市の認知症高齢者の状況

令和6年4月1日時点で、市の総人口は10万5,981人。そのうち65歳以上の高齢者が3万6,826人と、総人口の約35%を占めています。

総人口は年々減少していく中、高齢化率は上昇していくと見込まれていて、認知症高齢者の数も上昇していくと予想されます。



認知症は早く気付くことが大切!



1

治る病気や一時的な症状の場合があります

2

進行を遅らせることが可能な場合があります

3

今後の生活を準備することができます

認知症の主な初期症状

認知症の初期症状では、以下のような症状がみられることがあります。早期発見のため、気になり始めたら自分でチェックしてみましょう。※ご家族や身近な方がチェックすることもできます。

物忘れがある

- ・同じことを何度も話したり、聞いたりする
- ・同じ物を何度も買っている

意欲の低下

- ・身だしなみを気にしなくなる
- ・趣味や好きなテレビに興味、関心を示さなくなる

判断力・理解力の衰え

- ・料理・片付け・運転などのミスが多くなる

不安

- ・ささいなことで怒ったり、不安を抱くようになる

※取手市認知症ガイドブックより一部抜粋